

(別紙1)

尼崎市支え合いを育む人づくり支援事業 教育・研究活動事業実績報告書

教育・研究活動名	地域で子育て支援プロジェクト			
申請大学・高校等名	大学及び 高校等名	関西国際大学		
	活動 グループ名	教育福祉学科 1 年・図書サークル	参加学生 等人数	86 人
指導責任者名 及び連絡先	学部・学科等 名称	教育学部教育福祉学科		
	責任者氏名	馬場住子	連絡先 電話番号	
	E-mail			
協働する市民活動団 体及び代表者名	団体名	①一般社団法人りとる・ぱーてい②アミシング潮江商店街		
	代表者氏名	①島田佐知子 ②田中正喜	連絡先 電話番号	
	E-mail			
教育・研究活動 目標	本プロジェクトでは、福祉や幼児教育を学ぶ学生と地域の商店街や子育て支援団体が協働して親子向けイベントや子育て支援活動を行う。商店街での「赤ちゃんはいはいオリンピック」や子ども向けイベントの企画・運営では、子どもの発達に応じた遊びや安全面への配慮などを学習する。また、「地域」と「子育て世帯」の交流方法についても意識を向け、イベント企画や運営に取り組むことで市民性を養う。さらに、子育て支援団体実施の子育て支援の場への参加や、キャンパス内でも系列幼稚園の幼稚園教諭と連携し、子育て支援ひろば「どーなっつ」の開催を通して、保育スキルの向上と保護者の実態を学んでいく。これらを通して将来に向けて地域における子育て支援の課題解決に貢献できる人材の育成を目的とする。			
活動内容及び 実績、評価	【活動内容および実績】 ① 地域の商店街との連携イベントの運営と実践 「赤ちゃんはいはいオリンピック」: 6 月 1 日(土)にアミシング潮江商店街で実施の「あみちゃんのフリーマーケット」で連携イベントを実施。 準備として、4 月～6 月初年次セミナー受講者 69 名が授業内で商店街と話し合い、チラシ配布や看板作成などイベントの準備を積み重ねた。当日は、安全面に配慮し、商店街活性化イベントとして、親子連れの集客を目指した「赤ちゃんはいはいオリンピック」を行った。 ② 難波愛の園幼稚園との連携子育て支援「どーなっつ」: 難波愛の園幼稚園と連携し、サービスマーケティングの受講者 3 名を中心に地域の未就園児と保護者を対象に大学内で子育て支援活動「どーなっつ」を開催した。「どーなっつ」は週 1 回 6 月～3 月の期間に合計 28 回開催。通常は難波愛の園幼稚園の教員が行う活動の補助を学生が行い、子育て支援の方法を学んだり、地域の方へ知っていただけるよう Instagram 用動画を作成したりした。学生が主として担当する回を設け、保育計画、教材づくり、練習を積み、ペープサートやパネルシアターなどを実践。 「言葉指導法」受講者 47 名による絵本紹介POPの展示も行い、地域の子育て世帯への読書啓発活動も行った。			





難波愛の園幼稚園において、7月8月夏休みに園児向けに図書サークル12名とボランティア学生5名がパネルシアター、手遊び、ズームアウトクイズなどを行い、留学生は中国語の手づくり絵本の読み聞かせ、言葉指導法で学生が制作した「電子紙芝居」を上演した。



③ 潮江ふたば保育園・分園との連携：

図書サークルは地域の保育園と連携し、6月・10月・11月に保育実践「パネルシアター」「手遊び」「読み聞かせ」「リズム遊び」「手遊び」などを行った。



④ 尼崎市民まつり：

10月6日尼崎市民まつりでは、子ども向けブース「食育かるた」出展。食育かるたを制作、かるた遊びや読み聞かせなどを通して地域の子ども達と保護者に食育の大切さを伝えた。



⑤ 地域におけるボランティア活動：

りとる・ぱーていと連携し、地域における子育て支援活動にも参画した。12月27日小田南生涯学習プラザ「親子で楽しむスイミーこいのぼりスタンプアートワークショップ」では、子どもたちが押すスタンプのサポートなどを学生が行い、とてもカラフルなこいのぼりが出来上がりました。

⑥ 2月8日「小田地区つながるフェス」では「おやこのいばしょ」として、子どもたちに絵本の読み聞かせを行った。尼崎市あこや学園夕涼み会では園児の遊びの援助を行った。



⑦ 活動報告

活動成果の報告発表として、2月8日「小田地区つながるフェス」にて活動報告のポスターを作成し、フェス来場者などへ発表を行った。
連携団体の「りとる・ぱーてい」による『親子のほっこり・ひろば』へ参加された親子連れの方に活動について説明し、こういった子育て支援の活動は本当にありがたいと言った生の声を聴くことができ、活動の意義や意味を学生達も感じる良い機会となった。

⑧ 3月26日 りとる・ぱーてい主催「おつかい体験イベント」(ウイステ野田)参加。りとる・ぱーていにとっても初の体験型イベントで、学生が大活躍してくれたことで、スムーズにイベントが行え、大変助かったとのご報告があった。

【評価】

① 想定していた活動成果に対する達成度合い

アミシング潮江商店街との取り組みにおいて学生の振り返りからは、コミュニケーション力、課題発見・課題解決力の向上が見られた。子育て支援活動からは、学生の日誌などから、保育案の立案、保育実践力の向上とともに乳幼児理解と子育てする保護者と触れ合い、子育て支援の課題を捉える機会が持てた。学生は保育実践力を磨くことができたとともに、多くの子どもたちにどのように楽しんでもらうかを考える機会が持てた。中国からの留学生は読み聞かせに参加することで初めての日本の幼稚園での保育体験ができた。尼崎市民祭りでは、学生は地域の子どもたちとの交流から子どもの実態を学ぶ機会を持てたとともに個々の子どもの発達段階に合ったコミュニケーション力向上ができた。

② 学生等が関わった地域、団体の活動の変化等

●アミシング潮江商店街においては、学生達が子ども向けイベントを行うことで、来場した子育て世代に商店街のよさを認識してもらえる効果が得られた。また、学生と企画検討をすることで、商店街に新たな取り組みのアイデアが生まれることにも繋がった。

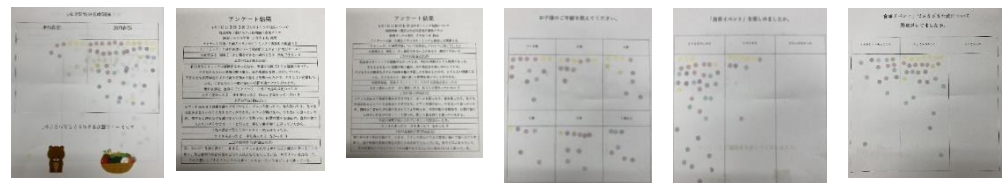
●「どーなつつ」における学生イベントにおけるアンケートでは参加保護者全員からよい評価が得られた。自由記述では「声も大きくてシアターも心がこもっていてすてきでした。可愛いなといいながら子どもに接してくれて、子どもも少しずつ慣れてきた姿を見て嬉しかったです。」などの感想が得られた。子育て支援活動としての「どーなつつ」についても、無料でいろいろな遊びを体験できたことや子育て中のママ同士の交流ができたことについて、感謝のコメントがたくさん寄せられた。夏休みの活動では子どもたちにさまざまな体験をする機会を設けることができ、「とても楽しかった」という感想が得られた。教員と共に実践した「リトミック」のアンケートでは、保育士にも学びがあったことが見受けられた。

●尼崎市民祭りの来場者は、尼崎市民 37 名市外 7 名、1-2 歳 13 名 3 歳 10 名 4 歳 10 名 5 歳 6 名 6 歳 10 名 7 歳以上 7 名であった。アンケートでは、とても楽しめた 37 名楽しめた 10 名、さまざまな食について、とても興味を持てた 15 名興味を持てた 10 名の結果が得られた。

●こいのぼりスタンプ遊びやつながるフェスティバルでの共同出展などとりとる・ぱーていと連携事業では、学生の子どもたちへの援助が素晴らしく、積極的に子ども達に関わってくれたので、保育者が助けられた。イベントに高校生や学生が入ってくると子どもたちが喜ぶのでイベントが大変盛り上がるとの評価を団体からいただくことができた。また、つながるフェスティバルでは、その他の活動について、報告のポスターにて紹介することで、今後の連携についてもいろいろなアイデアをお話しすることができ、次年度も連携させていただくこととなった。

●あこや学園からは地域貢献へのお礼の言葉をいただいた。

●潮江ふたば保育園からは子どもたちが新鮮にいろいろな遊びを体験できたという感想をいただいた。



③ 学生等の学習意欲、地域に対する考え方の変化等

地域の子どもたちとの触れ合いは学生にとって地域への親しみを感じ、地域と共に歩んでいこうという意識を育てた。留学生が参加することで国際色豊かな読み聞かせの機会が持てた。子どもたちの笑顔や保護者・保育者からのお礼や労いの言葉は、学生にとって今後の地域貢献活動への意欲に繋がるものになったと考えられる。

<学生の感想>

実際に活動を通して子育て支援に関わった際、子どもや保護者と関わりにより、より身近に子育てについて考えるきっかけとなりました。その活動で、子どもと一緒に遊んでいる際、保護者は子育てについて相談を担当の方としており、保護者も子どもを見守りつつ安心する空間で相談できるのが良いと感じました。

	また、保護者にとっても、安心が出来る空間で子どもが様々な人と関わりが持てる点も良いと考えます。子育てを頑張る保護者にとっても、子育てに疲れた際等、少しでも一息つける場所があるだけでも気持ちは変わるだろうと考えます。その為に、地域も保護者に寄り添う気持ちが大切だと感じました。保護者にとって「子育て支援」は地域と繋がることができ、安心感を得られるのではないかと考えます。また、学生が参加することで、地域としても若者とコミュニティが作られ、地域の活性化に繋がると考えます。 そのコミュニティで学生等は、ボランティア活動を通して、子育ての大変さや楽しさを身近に感じることができ、子育てに関心を持ちやすくなると考えます。
--	--

※ 報告書の内容及び掲載写真は、市報、HP等の市の発行する媒体への掲載される場合がありますので、事前に学生等の同意を得た上で、提出をお願いします。